

# ● ● ● ● ● 境川の源流を目指す① ● ● ● ● ●

日時:2020年3月17日(火) ※14日から変更 天候:曇りのち晴れ 27000歩 約18km (やや健)

集合:小田急片瀬江ノ島駅 10時

コース:片瀬江ノ島駅→片瀬漁港(境川河口)→下藤ヶ谷公園→

参加者:熊坂(L) 勅使河原 平石 小林 清水 伊藤美 小島 福士 市村 中村ゆ 丹後 奥村 高橋友 鈴木孝  
吉田正 原田 計16名

「溪流の女王」ならヤマメですが、“源流の女王”と言えば本日のリーダーの熊坂さん！何と言っても全長138kmの多摩川を河口から源流点まで極めた時の先達ですから・・・その“女王”が、またまた川の源流点を目指すことに！（祖先は魚だった？）

今回挑戦するのは片瀬漁港で相模湾に注ぐ全長52kmの境川。多摩川に比べれば楽でしょうが、連日のコロナ感染報道一色の中、雨ニモマケズ 風ニモマケズ 家族の冷やかな目にもマケズに集まった“ツワモノ”が何と16名もいました！

第一回目のこの日、果たしてこの境川はどのような流れを我々に見せてくれたのでしょうか。（それにしても18kmはキツイ！）

<フォトレポート 小島>



★リニューアルされた片瀬江ノ島駅。まずは乙姫様へのご挨拶を兼ねて新竜宮城をバックに記念写真。新駅舎は元の竜宮城の雰囲気はそのままに、新たに「竜宮造り」という神社仏閣の技法を採用し、ホーム上の屋根、コンコースの拡幅、トイレがリニューアルされました。まだ一部工事のため、すべて完成するのは5月になるようです。

注:前列は乙姫様のお母さま方です！



定刻には全員揃い、まずは片瀬漁港を目指すことに。



境川の河口。この辺りは通称片瀬川とも呼ばれます。



境川の河口標識がないので、片瀬漁港を源流歩きのスタート点とし集合写真を撮りました。(逆光です)



●境川とは：

境川(さかいがわ)は、東京都町田市相原町大戸の同市最高峰・草戸山(365 m)北東面(町田市大地沢青少年センター付近)に源を発し、東京都および神奈川県を流れ相模湾に注ぐ二級水系の本流である。川の名称はかつて武蔵国と相模国の国境とされたことに由来し、現在でも上流部(町田市最南部まで)は概ね東京都と神奈川県の都県境となっている。

なお、かつては相模国高座郡に由来する高座川(たかくらがわ)とも呼ばれていた。また、最下流部から河口にかけては片瀬川(かたせがわ)とも呼ばれる。かつては流れが激しく蛇行しており、たびたび洪水を引き起こしたために河川改修が行われ、相模原市緑区橋本付近よりも下流では拡幅とともに流路の直線化が行われた。また旧石器時代の境川沿いの遺跡としては、相模原市の橋本遺跡、古淵B遺跡、下森鹿島遺跡、中村遺跡等がある。(Wikipediaより抜粋)



片瀬漁港の芝生広場で熊坂Lのストレッチ。気持ちがいい！



ここで本日のコース説明。少人数なので話がよく聞けます。



一旦駅前に戻りここから境川の右岸を遡ることに。



これは西浜橋。中央には洒落た欄干が建ちます。



下藤ヶ谷公園で小休止。馬や羊が待っていた！



コラ、人生の先輩を前に座っているのは誰？



遊歩道はここで江ノ電境川橋梁の下を潜ります。



対岸を眺めると目が点に・・・崖崩れで上の家は大丈夫？



終日逆光になるので後姿ばかり・・・



奥田公園で休憩後再スタート。



ここで左岸から柏尾川が合流します。



東海道線の線路に阻まれ迂回。前方は藤沢駅。



満開の桜。寺かと思ったら個人の住宅でした。



川面にはカワウが一羽、羽を広げて日光浴中か？



藤沢橋交差点に出た。遊行寺までもうすぐです。



ランチ場所の遊行寺に到着です。参道は本日初の上り坂。

いつ来ても歴史を感じる重厚な本堂です。

●遊行寺（清浄光寺）：

清浄光寺(しょうじょうこうじ)は、神奈川県藤沢市にある時宗総本山の寺院で、藤沢山無量光院清浄光寺と号す。俣野(現在の藤沢市西俣野、横浜市戸塚区俣野町、東俣野町)の領主だった俣野氏の一族である俣野五郎景平が開基。

近世になって遊行寺(ゆぎょうじ)と通称され、明治時代より法主(ほっす)・藤沢上人と遊行上人が同一上人であるために通称の遊行寺の方が知られている。



ランチ場所は境内にある樹齢800年の大銀杏を取り囲むベンチに座って。



この大銀杏、秋には黄金色に輝き遊行寺のランドマークになりますが・・・上から鳥のフン、大丈夫？



ランチを終えて振り返ると銀杏の大きさが分かります。



後ろ髪を引かれた「おはぎ」。すでに満腹だったので残念！



赤い遊行寺橋を戻り再び境川遊歩道を上流へ。



鉄道の橋梁かと思ったら水道橋でした。(恥かいた！)



畑の中に青い家が・・・趣味か？



東俣野公園に到着です。



ここでトイレ休憩となりました。



奇妙な動きの女性陣。その踊りは何？



境川右岸に渡る。この辺りは川が大きく蛇行している場所。



俣野川

左岸からは俣野川が流れ込んできます。



和泉川

境川親水公園の横から合流する和泉川。



公園内は様々な施設が充実しています。



情報センターは閉鎖中でトイレのみ使用可。



仕方なく冷たい風が吹きぬける屋外で休憩。



男性陣も暫し日向ぼっこでまったりと。



境川の河原も新緑が芽吹き春景色に。



境川に架かる鷺舞橋上で全員集合。順光を考え橋の雰囲気とバックに公園を入れるとこのアングルになった。



橋の下を見るとカワセミが二羽！夫婦なのか、不倫カップルなのか・・・(18倍ズームではこれが限界)



ハプニング！【母さん私の帽子どこへいったのでしょうか・・・】  
「ほら境川に落ちたわよ」「あ、あそこにあった！」

制止も聞かずそこに現れた男一匹！その名は平石一男。  
河原へ下りるや、葦が茂る湿地に分け入り帽子に近づいた！



「とったど～」 普段は乱高下の“平石株”ですが、  
この日ばかりは日経平均を越え大幅上昇しました！

風で飛んだ帽子はこうして落とし主に無事戻ったのです。  
流れの中に落ちず良かったですね・・・メデタシメデタシ！



ゴールが近づきました。手前はグリーンライン、向こう側は相鉄線です。



湘南台公園で最後のストレッチ。影が長くなっています。



湘南台駅に到着。アフターはなし、皆さんお疲れ様でした。

### 《今日の一言》

「外出自粛」が日本全土を覆っている中、この状況がこの先も続くかと思うと気が重くなります。自宅待機の子供達も公園での遊びは問題なしとなりましたが、我々シニア層も家に籠らず、屋外に出掛けてストレスを解消しましょう！（野山は大丈夫）

ウイルス感染は閉鎖された空間が最も危険と言われています。今では電車内も、少しだけ窓を開けて運行していますが、停車するごとに開閉されるドアの近くが、空気の入替えが起りやすくより安全性が高いとのこと。但し今のところは電車内での感染例は出ていないので、その点は安心出来ますが・・・また混雑した車内では無理も、予防のためには周りの人との間隔は2m前後空けるのが良いようですね。

となると、今後はウォーク時もお互いの間隔を空けて歩かねば！ まあ、いつも列が延び気味なのでその点は大丈夫か？

END